

中村学園大学
流通科学研究所 所長 甲斐 諭

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は、本学の教育研究につきまして、皆様の格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。中村学園大学流通科学部は、平成18年度に流通科学研究室を設置し、過去2回の国際セミナーを開催してきました。さらに、本年度からは流通科学研究所として施設及びスタッフをより充実させて、西日本における流通科学研究及び教育の拠点として、地域社会に貢献していくことを目指しています。

流通科学研究所の事業計画といたしましては、(1)国内外の調査研究の実施とその成果の公刊、(2)海外の研究者・研究機関との交流および共同研究の推進、(3)地域貢献としてのセミナー・シンポジウム等の開催、(4)企業・行政機関などからの研究受託、(5)流通関係の文献目録の作成などを考えています。また(6)毎年末には、機関誌『流通科学研究所報』を発行して一年間の活動状況を公表します。

平成20年6月21日、流通科学研究所の開設を記念して、日中韓の国際セミナーを開催いたしました。当日は来場者数が240名を超える中、以下の内容で講演がおこなわれました。また、セミナー終了後の懇親会にも多数の参加をいただきました。

ここにご参加いただいた皆様へ改めまして御礼申し上げますとともに、今後とも流通科学研究所へのご高配を賜りますよう、切にお願い申し上げます。



中国人民大学 曾教授



韓国江原大学校 李教授



中村学園大学 甲斐教授

詳細事項

◆日時	平成20年6月21日(土) 〔受付〕9時30分から 〔講演会〕10時00分から12時30分まで 〔懇親会〕12時30分から14時30分まで
◆場所	ソラリア西鉄ホテル 雪の間(講演会)、花の間(懇親会) 〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目2番43号
◆共通テーマ	「東アジアの食料の生産・加工・流通・消費の新動向」

◆講師・講演 テーマ	中村学園大学 流通科学部 教授:甲斐 諭(かい さとし)氏 「日本の食料関連産業を巡る4つの変化要因と3つの研究分野」
	中国人民大学 農業と農村発展学院 教授:曾 寅初(そん えんしょ)氏 「中国における食料の安全性確保対策と流通の新動向」
	韓国江原大学校 農業生命科学大学 農業資源経済学科 教授:李 炳沚(り びょんおう)氏 「韓国における食料のFTAの影響と流通の新動向」

講師プロフィール

中村学園大学 流通科学部 教授:甲斐 諭(かい さとし)氏

講演テーマ:「日本の食料関連産業を巡る4つの変化要因と3つの研究分野」

1944年台湾生まれ。1973年九州大学大学院農学研究院農政経済学専攻博士課程修了。1973年九州大学農学部助手。助教授、教授を経て、2008年定年退職、08年4月より現職。主要研究領域は、食料の生産と流通の国際比較研究など。日本農業経済学会会長、九州農業経済学会会長を歴任。現在、内閣府食品安全委員会専門委員、日本流通学会副会長、福岡市卸売市場開設運営協議会副会長など。

中国人民大学 農業と農村発展学院 教授:曾 寅初(そん えんしょ)氏

講演テーマ:「中国における食料の安全性確保対策と流通の新動向」

1963年中国浙江省生まれ。1987年中国人民大学農業経済学修士課程修了、99年京都大学大学院農学研究院農林経済学専攻博士課程修了。87年中国人民大学農業経済学系助手。講師、同副教授を経て、2005年より現職。主要研究領域は、食料経済学、開発経済学、農産物貿易など。04年より同大学副院長。

韓国江原大学校 農業生命科学大学 教授:李 炳沚(り びょんおう)氏

講演テーマ:「韓国における食料のFTAの影響と流通の新動向」

1953年韓国生まれ。1981年帯広畜産大学大学院修士課程修了、84年九州大学大学院農学研究院農政経済学専攻博士課程修了。84年韓国東亜大学助教授。87年より現職。2002-04年同学部長。主要研究領域は食料経済学など。米国イリノイ大学、中国延辺大学の客員教授を歴任。韓国農業経済学会副会長。